

【国語】

問題のねらい、主に問いたい資質・能力及び小問正答率（速報値）等

第1問 問題のねらい

現代の社会生活で必要とされる実用的な文章のうち、高校生にとって身近な「生徒会規約（部活動規約）」等を題材としている。それらを踏まえて話し合う言語活動の場を設定し、複数の資料を用いることにより、テキストを場面の中での確に読み取る力、及び設問中の条件として示された目的等に応じて思考したことを表現する力を問う。

解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)
		知識・技能	思考力・判断力・ 表現力		
問1 1	C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能 (文や文章)	目的等に応じて情報をとらえ、テキスト全体の要旨を把握することができる。	【記述式】 テキスト（会話文）の内容を踏まえ、他のテキスト（規約）の中から、問いに示された目的（要望への回答となるよう生徒会新聞に記載する内容をまとめること）に応じて、必要な情報（条件と手続き）をとらえ、的確に説明する。	
問2 2		言葉の特徴や使い方に関する知識・技能 (文や文章)	目的等に応じて情報をとらえ、テキスト全体の要旨を把握することができる。	【記述式】 テキスト（会話文）の内容を踏まえ、他のテキスト（規約）の内容をとらえ、前提条件（双方の顧問の許可があること）を踏まえた上で、必要な情報（規約には見られない内容）を的確に説明する。	
問3 3	B 書くこと (1) イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	情報の扱い方に関する知識・技能	テキストを踏まえ、推論による情報の補足や、既有知識や経験による情報の整理を行って、テキストに対する考えを説明することができる。 テキストを踏まえ、条件として示された目的等に応じて、必要な情報を比較したり関連付けたりして、テキストに対する考えを説明することができる。	【記述式】 テキスト（会話文）の内容をとらえ、他の複数のテキスト（資料①～③）を比較し、全体の要旨を理解した上で、指定された登場人物の立場に立って、対立点を整理し、具体的な根拠を明らかにして、基本的な立場と予測される意見について考え、的確に説明する。	

第2問 問題のねらい

図表や写真が含まれた論理的な文章を題材としている。図表や写真と文章とを関連付けながら、構成や展開をとらえるなど、テキストを的確に読み取る力を問うとともに、設問中に示された条件に応じて考えを深め、テキストの内容と結び付く情報とそれらの適切な論理の展開を判断する力を問う。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)	
		知識・技能	思考力・判断力・表現力			
問1	1	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	目的等に応じて情報をとらえ、テキスト全体の要旨を把握することができる。	テキストの中における語句の意味を文脈に即して適切にとらえる。	53.1	
					2	31.2
問2	3	C 読むこと (1)イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	テキスト全体を通じて対比されている事項について考察し、共通点や相違点を整理することができる。	図の内容を踏まえ、テキストの中で言及されている二つの事柄を対比しながら適切に整理する。	61.2
問3	4	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	目的等に応じて情報をとらえ、テキスト全体の要旨を把握することができる。	テキストに示されている図の内容について、文章との関連において適切にとらえる。	19.4	
問4	5	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	テキスト全体を通じて対比されている事項について考察し、共通点や相違点を整理することができる。	テキストに表現された事柄について、文章全体に即して適切に整理する。	35.4	
問5	6	C 読むこと (1)エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	情報の扱い方に関する知識・技能	テキストを踏まえ、推論による情報の補足や、既有知識や経験による情報の整理を行って、テキストに対する考えを説明することができる。 テキストに含まれている情報を統合したり構造化したりして、内容を総合的に解釈し、テキストに対する考えを説明することができる。	テキスト全体の要旨を踏まえ、条件として示された場面設定(異なる視点を加えて議論すること)に応じて、情報を統合して論じることができる内容を適切に判断する。	44.3

第3問 問題のねらい

文学作品（「幸福な王子」）を踏まえて創られた小説を題材としている。本文に即して登場人物の心情や言動の意味をとらえるなど、テキストを的確に読み取る力を問うとともに、文章に示された原作のあらすじと創作された内容との比較を通して、文学的な文章における構成や表現の工夫を読み取る力を問う。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)	
		知識・技能	思考力・判断力・表現力			
問1	1	C 読むこと (1)イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(語彙)	テキストにおける語句の意味や比喻等の内容を適切にとらえることができる。	テキストの中における語句について、文脈との関連において意味を理解し、適切な表記(適切な漢字)をとらえる。	65.8
	2	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項				57.8
	3	(イ)文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。				42.6
問2	4	C 読むこと (1)ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	テキストの特定の場面における人物、情景、心情などを解釈することができる。	テキストの特定の場面における登場人物の特徴について、本文の中から適切な情報を示す。	80.3
問3	5・6		言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	テキスト全体における人物相互の関係の容や心情の変化を適切にとらえたり、言動の意味を解釈したりすることができる。	テキストの中の会話に着目し、文脈を踏まえて登場人物の心情を適切に示す。	24.8
問4	7	C 読むこと (1)エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	テキストを踏まえ、条件として示された目的等に応じて、必要な情報を比較したり関連付けたりして、テキストに対する考えを説明することができる。	テキスト全体の内容を把握し、冒頭の原作のあらすじとその後のテキストとの関係を比較したり関連付けたりして適切に判断する。	18.6
問5	8	C 読むこと (1)ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	テキスト全体の構成や展開、表現の仕方等を評価することができる。	テキスト全体の内容を把握し、観点として示された構成や表現の効果を適切に示す。	42.3
	9					36.7
	10					49.9

第4問 問題のねらい

一つの古文のみを提示するのではなく、表記の異なる二つの古文（二つの書写本）とそれらに関する注釈書を題材とすることで、複数のテキストを比較することを通して、登場人物の心情や言動の意味、表現の工夫をとらえ、古文を的確に理解する力を問う。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
		知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1 1	C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能（語彙）	テキストにおける語句の意味や比喻等の内容を適切にとらえることができる。	テキストの文脈との関連において、補う語句を適切にとらえる。	46.1
問2 2	C 読むこと (1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。	我が国の言語文化に関する知識・技能	テキストにおける語句の意味や比喻等の内容を適切にとらえることができる。	テキストの中における和歌について、文法や修辞、語の意味を通して内容を適切にとらえる。	22.5
問3 3	C 読むこと (1) ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能（文や文章）	テキスト全体における人物相互の関係の変化や心情の変化を適切にとらえたり、言動の意味を解釈したりすることができる。	テキストの中の会話に着目して、文脈を踏まえて登場人物の言動の意味を適切に示す。	30.3
問4 4	C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能（文や文章）	目的等に応じて情報をとらえ、テキスト全体の要旨を把握することができる。	テキストに表現された出来事について、文脈に即して内容を適切にとらえる。	20.4
問5 5	C 読むこと (1) エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能（表現の技法）	テキスト全体の構成や展開、表現の仕方等を評価することができる。	複数のテキスト（二つの古文：書写本）を比較して、相違点を吟味し、表現の効果を適切に示す。	22.9
問6 6		言葉の特徴や使い方に関する知識・技能（文や文章）	テキストを踏まえ、条件として示された目的等に応じて、必要な情報を比較したり関連付けたりして、テキストに対する考えを説明することができる。	テキスト全体の要旨を把握し、他の複数のテキスト（二つの古文：書写本）の相違点を踏まえ、書き手の意図を適切に判断する。	28.9

第5問 問題のねらい

漢文を題材として提示するだけでなく、生徒の言語活動の場面を想定し、関連する漢詩やその説明などからなる文章を題材とすることで、複数のテキストを比較することを通して、登場人物の心情や言動の意味等をとらえ、漢文を的確に理解する力を問う。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
		知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1	C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(語彙)	テキストにおける語句の意味や比喻等の内容を適切にとらえることができる。	テキストの文脈との関連において、語句の読み方を適切にとらえる。	76.9
					65.0
問2	C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(語彙)	テキストにおける語句の意味や比喻等の内容を適切にとらえることができる。	テキストの文脈との関連において、語句の意味を適切にとらえる。	12.5
					26.2
問3	C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。	我が国の言語文化に関する知識・技能	テキストにおける文や段落の内容を、接続の関係を踏まえて解釈することができる。	テキストの内容を踏まえて、文脈に即した適切な訓読を示す。	30.2
問4	C 読むこと (1) ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	テキスト全体における人物相互の関係の変容や心情の変化を適切にとらえたり、言動の意味を解釈したりすることができる。	テキストの中の会話に着目して、文脈を踏まえて登場人物の言動の意味を適切に示す。	41.4
問5	C 読むこと (1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。	我が国の言語文化に関する知識・技能	テキストに含まれている情報を統合したり、構造化したりして、内容を総合的に解釈し、テキストに対する考えを説明することができる。	テキスト全体の内容を踏まえて、漢詩の形式と我が国の言語文化における漢詩文の位置を適切に判断する。(当てはまる選択肢を全て選択させる問題)	14.3
問6	C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	テキスト全体を通じて対比されている事項について考察し、共通点や相違点を整理することができる。	複数のテキスト(文章Ⅰと文章Ⅱ)を比較し、相違点を理解し、適切な情報を整理する。	22.3
問7	C 読むこと (1) エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能(文や文章)	テキストを踏まえ、条件として示された目的等に応じて、必要な情報を比較したり関連付けたりして、テキストに対する考えを説明することができる。	テキスト全体の要旨を把握し、複数のテキスト(文章Ⅰと文章Ⅱ)の相違点を踏まえ、漢詩が表現しようとした内容を適切に判断する。	32.8